

2016年(平成28年)8月3日(水) 第5回 例会 (通算2711回)



人類に
奉仕する
ロータリー

Weekly Report No.2596

Rotary International District 2580

石垣ロータリークラブ

地区ガバナー: 上山 昭治氏

「出会いを大切に」



RI 会長: ジョン・F・ジャーム

石垣ロータリークラブ

石垣ロータリークラブ55年のあゆみ

1966~1967 年度



六代会長 大浜 英昌

副会長	西里 松太郎	幹事	大兼 理増
副幹事	上原 秀夫	会計	新崎 盛善
会場監督	西垣 正一	クラブ奉仕	向井 信雄
社会奉仕	清村 英診	職業奉仕	荒木 松次郎
国際奉仕	屋比久 嘉良		

- 当クラブ主催、八重山新聞協会、八重山教職員会の公演による第11回少年野球大会を開催(1966.8.20)
- 交通人形を石垣中学校、登野城小学校、石垣小学校へ贈呈し交通安全推進に努めた。

《社会情勢》

- 1967年
- ・八重山全群民待望の OHK 八重山放送局のテレビ開局
 - ・群民が島ぐるみ運動で誘致した八重山商工校の開校式
 - ・八糖と石糖の合併で原料 97,000トン
 - ・全県で初めての開頭手術が八重山病院で成功する
 - ・5月1日を期し、自動電話へ切替
 - ・初の日の丸機が就航

【RIテーマ】



1966~67年度 RI会長
リチャード L.エバンス
(米国・ソルトレークシティRC)

会 長	: 前木 繁孝	副 会 長	: 大浜 一郎	幹 事	: 前原 博一
副 幹 事	: 宮城 早人	SAA・出席	: 遠藤 正夫	情報・会報	: 宮良 薫

例会日 水曜日 12:30~13:30
 例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
 事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
 URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
 E-mail ishirota@ninus.ocn.ne.jp

- 司会進行： 小底 厚子
- ロータリーソング： えんどうの花・四つのテスト
- ソングリーダー： 宮城 早人
- ゲスト： 石垣 安志氏(石垣教育委員会 教育長)
- ビジター： 今西 敦之氏(大阪・八尾 RC)
- 出席報告

会員総数 41名 出席義務会員 40名
 出席数 26名 欠席数 14名
 出席率 65.00%(7月通算出席率 70.00%)

☹️ 本日のこここ

	小 計	累 計
BOX	¥5,000	¥25,000
コイン	¥3,596	¥27,548
合 計		¥52,548

- 本日メーキャップよろしくお願ひ申し上げます。前木会長のご活躍祈念申し上げます。(今西 敦之)
- 本日は石垣教育長をお迎えて、よろしくお願ひ致します。又メーキャップの今西様、お待ちしております。(前木 繁孝)
- 石垣教育長本日は有難うございました。(前原博一)
- 10/13~16 台東東 RC 周年事業、台北大同 RC 例会メイクアップ参加宜しくお願ひします。(大浜勇人)

会長挨拶：前木 繁孝

早いもので7月1日、新 賢次会長から私にバトンタッチがなされまして、4回目の例会を迎えました。今日で1ヶ月を消化したことになります。残すところ11ヶ月、何とかやれそうな気がして参りました。皆さんのご協力もこれから引き続きよろしくお願ひ致します。

今日は石垣市教育委員会教育長の石垣安志教育長をお招きしております。これから卓話をいただくわけですが、石垣の子ども達の応援団になろうと、いう趣旨のお話をされるようです。ぜひ今日は教育長に思いのたけを短い時間ですがお話し頂いて、我々ロータリアンが石垣市の子ども達の教育にどう関わって行けるのかを考える機会にもしていければと思います。私の挨拶はこれぐらいにして、早速教育長のお話をお聞きしたいと思います。

ビジター：今西 敦之氏

昨年、上原会長の時に1度寄せて頂きましたが、今回は平素より大変お世話になっております前木さんが会長になられたという事で、馳せ参じた次第であります。どうぞよろしくお願ひします。今年度、私は八尾 RC で米山を担当しております。米山の奨

学生を受入れながら、国際社会に通用するという観点から米山奨学生と共に毎週例会に参加させて頂いています。私の生業としまして、大阪が本社でございます。お米の販売、そして美容のエステティックサロンを運営しているわけですが、石垣島ではご縁を頂きまして、真栄里と登野城にハンモックというリラクゼーションのお店を運営させて頂いています。昨年55周年を迎えられたということでございますが、私どもも昨年55周年を迎えましたので同じ年かなと思っておりますので、今後ともどうぞ親しく切磋琢磨しながら、奉仕活動にまい進され、会員増強を図られ、そして今年財団100周年と言う記念でございます。前木会長もご苦労されるかと思いますが、益々の皆様のご活躍とそして健康を祈念いたしまして、私のご挨拶と致します。

ゲスト卓話：石垣 安志氏

石垣市教育委員会 教育長



教育委員会制度が昨年4月1日に変わり、石垣市の教育行政においても新教育委員会制度に移行することになりました。議会の全会一致で同意を頂き、去る4月1日に中山市長より任命を受け教育長に就任いたしました。新教育委員会制度は、教育の政治的中立性、継続性及び安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化と迅速な危機管理体制の構築、また首長との連携強化を図ると共に、地方に対する国の関与の見直しを図る地方教育行政の制度の改革となります。このような改革のもと教育長に就任しました。精一杯石垣市の教育行政に力を尽くしてまいりたいと思います。

最初に自己紹介ですが、私は昭和29年生まれで新川の出身です。石中、八重高、琉球大学を卒業しました。まず初めに私の教師として経験したことをお話ししたいと思います。

昭和61年、与那国の比川小学校に赴任した時のことです。ある子どものお父さんに「うちの子は高跳びの素質がある。だから背面跳びを教えてくれないか。先生が指導してくれるなら、セーフティマットを買ってくるから。」と言われました。今から30年以上も前の話ですから、もちろん与那国にはセーフティマットはありません。その後話は進み、そのお父さんは約25万円もするマットを買ってきて、学校に置きました。小学生の陸上大会は夏休みを終えた9月にあります。それに向け練習メニューを組んでやると、その子の父親もそうでしたが、やはり血筋といえますか、ジャンプ力があるわけです。グラウンドにマットを置いて練習をすると、あっという間に、フォームもきれいに整って、当時の小学校記録は1

m45 cmでしたが、それを軽々と飛べるようになりました。そして八重山大会に参加しようとした時です。あいにく島に台風が近づいていました。私は「絶対この子は記録更新しますよ。」と校長に話すと、校長から「1週間前に石垣に渡っていいですよ。」という返事をもらいました。私はその子を連れて石垣小学校に1週間体験入学させながら、高跳びの練習をさせました。そして大会当日、見事これまでの記録を13cm オーバーの1m58cm で小学生の大会記録を樹立しました。その後、彼は中学3年生の時に中学校全国大会に出場し、1m99cm を跳んで、沖縄県代表として初の陸上競技での日本一に輝きました。この背景にはいろんなことがありました。素質を見つけて「道具は買うから伸ばしてくれないか」とマットを買ってきたお父さん。またその子のために、背面跳び指導に関わるビデオテープを買って見せてくれた人。それから早朝練習として比川浜で朝6時から体力強化をしてくれた皆さん。大勢の方が応援をして、彼は立派に素質を現して伸びて行ったと感じました。

次に八島小学校での話ですが、私は赴任する前に、新川小学校でホウライカガミを植え、オオゴマダラを育てていました。そして八島小学校に赴任した時に、南側のフェンス沿いにホウライカガミが植えられているのに気づきました。当時退職した先輩教師が食草園を作ってくれたわけです。それで私は食草園を利用して、オオゴマダラの観察を子ども達に行わせました。オオゴマダラはサナギになる時にどのような習性を持っているかご存知でしょうか。オオゴマダラはサナギになる時に、葉裏の葉脈のしっかりした所にぶら下がります。そしてサナギになる直前に触角を震わせ、そして脱皮を始めて行きます。また食草を食べ歩いていて、サナギになる直前には動きが鈍くなります。動きが鈍くなった時、食草の下にガジュマルやパキラや福木などの低い植木鉢を置くと、変態にそなえて下に降りて来て逆さ吊りになるわけです。その動きを観察しながら、サナギになる間近に、これを捕まえて植木鉢に移動します。そうすると小さな植木鉢いっぱい、オオゴマダラの黄金色に輝くサナギがいっぱいぶら下がります。これを身近で子ども達は観察し、まとめ発表をしました。その発表は、当時行われた全国野生生物保護実績発表大会において、見事文部科学大臣奨励賞を頂きました。その後、この観察に関わった子ども達は理工系の大学に進み、今、立派に社会人として活躍しております。

私が、学校長として10年間の勤務を通してモットーにしてきたことは、「和」です。常に和やかに職員の間を大切に、和やかな職場雰囲気の中で一人一人の職員の持ち合わせた特技を最大限に発揮させ、進むべきベクトルを一つにして同一歩調で進むことでした。また、地域との「和」も大切に考え連携を図

りながら地域に根ざした教育を心がけました。更に、子ども達とは「和やかで楽しい学習環境を造り、楽しく仲良く学校生活が過ごせる学校づくり」を行いました。このような経営方針で最大限に児童・生徒一人一人を輝かす教育活動の推進を心がけました。

このモットーの「和」については、現在の教育長の立場になっても、引き続き持ち続けて行こうと決意しております。

さて、教育長として、去る6月末から7月初旬にかけて台湾蘇澳鎮に行ってきました。真喜良小学校7名、石垣第二中学校8名をホームステイさせながら教育交流を行いました。子ども達は現地の言葉をしゃべらなければいけないという事で、それぞれ緊張したと思います。そして至る所で挨拶をして帰ってきた時には、大変素晴らしく流暢に自己紹介が出来るようになっていました。ホームステイの中で子ども達は異文化を知ること、そして生活様式、生活習慣の違いをいろいろ体験してきました。一番良かったと思うのは、子ども達がホームステイをし、その小中学生と交流をする中での意思疎通の仕方です。子ども達は、まずジェスチャーを交えながら表現し、あとはスマホで訳してお互いそれを交換していました。それと英語です。石垣の子ども達は学校で英語を習っても、それが何の役に立つのか、使う機会が無いんじゃないか、というように、学校で学ぶ事の大切さ、生活に役に立つという有用性をなかなか体験できていません。しかし台湾で交流すると、台湾の中学生は英語で話してくるわけです。そうすると子ども達はやっぱり英語を勉強しないといけない、もっと英語を勉強しておけば良かったと、外国に行ったら世界共通語として通用するんだという事を知るようになります。これは大変素晴らしい体験になったのではないかと思います。次年度も綿密な計画を立てて、石垣市の小中学生にこのような教育交流、国際交流を、是非、進めて行きたいと思っております。

先だっの県中体連でソフトテニスの優勝の記事がありました。全国大会、県大会、いろいろな大会で石垣市の子ども達は輝いています。かつて、伊志嶺監督が八重山商工を甲子園に連れて行きました。その影響は非常に大きいものがあります。普段、石垣島の子ども達がやっている野球、そこに一つ違ったやり方、上のレベルのものを持って来る、そうすると子ども達は上のレベルを見て、学んで、さらに島全体のレベルも上がっていくわけです。

スポーツ界のみならず、郷土芸能もそうです。この前、浪漫の会の演劇発表がありましたが、それを見ているとやはり指導に関わる皆さんがすごく指導技術を向上させています。

そして子ども達を引っ張る力、素質を見つける力、適材適所で使う力などが指導者にも十分身につけてきていると思えました。それが、私たちの石垣っ子

を県制覇、全国で活躍できる子供に成長させているのではないかと思います。スポーツにしても演劇にしても、やはり指導に関わっている皆さんがしっかりと子ども達の良さを見つけ、そして伸ばしてきています。そして何よりもレベル向上を図るためには、ある壁を破らなければいけないわけです。例えば八重山の子供達が、県大会に行って、1・2回戦で終わることが続くと、なかなかレベルも向上しません。しかし、いきなり甲子園に行ったりすると、他の学校の子供達も同じくレベルアップしてくるわけです。何か1つ特技、または好きなもの、それを伸ばしていけば、そこから更なる向上が子ども達にはあるんじゃないかなということ。私は、是非、そのような応援隊になりたいなと思っております。

最後に学力面についてです。八重山の子供達は、着実にしっかりと頑張っています。過去の全国学力学習状況調査を見ますと、上位の県は福井、富山、秋田県などで、沖縄県はいつも下位に甘んじています。しかしそこを一步打破できると、スポーツと同じように学力面も全国レベルに近づいていくと思います。沖縄県は平成24年に幼児・児童・生徒の学力を全国上位に持って行くという取組を行いました。石垣市でもこれを全国レベルに引き上げ、県レベルを突破するという取組をやってきました。その結果、平成26年度に沖縄県は全国で最下位からいきなり24位に、そして27年度は20位に上昇するなど、今まで破れなかったものを破るなど上がってきています。しかし、それを維持するためには、各学校で取組んでいる事をしっかりと継続していくこと、継続しながら更に新しい工夫、特に先生方の指導技術、指導法を工夫改善していくことが必要です。先進地の福井、新潟県等との教員の交流、視察研修などを

進めて行くことで指導技術も向上しますし、また、子ども達の学力も1年生からそういった取り組みをしているので、急に落ちるといったことも無いかなと思います。

今年も結果の発表がありますが、中学校においても、これまでの取り組みを継続し、一步なりとも、全国平均に近づくような結果を出して行きたいと思っております。

現在、石垣市教育委員会では、ICT教育の一環で、電子黒板、デジタル教材及びiPad等を取り入れています。他の市町村では全学級にこれを導入しているケースは少ないようですが、石垣市では全ての学級に導入しています。しかも複式学級の中には1教室に2台もあるわけです。1人の先生が3年生と4年生を教える時、3年生を教えていて、今ここをやってくださいねと、そして4年生に移る。その間教師はいないわけです。そういう時にデジタル教材は大変有効で、このような複式学級の指導の手助けにもなります。また、遅れている子ども達の補習、復習にも活用できるということで、大いに学校現場で、そういった機器を使いながら授業を進めて、更なる学力の向上を図って行きたいと思っております。

スポーツにしろ、学習面にしろ、サポーターになる人達がいないと子ども達は十分に伸びて行きません。バスケットボール、野球、他のスポーツ、子ども達の試合を見に行きますと、会場はすごいものがあります。お父さん、お母さんが盛り上がり子ども達を応援しています。その応援団こそが子ども達を更に励まし、成長させていくのではないかなということ。八重山の子供達、石垣市の子供達の為に、私たちは、しっかりとその応援団となり、常にサポートをして行きたいと思っております。

～例会風景～



本日のソングリーダー...



八尾RCの今西様
がご来会下さいました。



本日は入会式
を行いました。

卓話の記念にバナナ
を贈呈



＝☆ 新入会員紹介 ☆＝

我那覇 宗広氏

- ◆生年月日:1964年10月4日(51歳)
- ◆勤務先:日本トランスオーシャン航空(株)
- ◆職業分類:旅客輸送

